

市長の地域説明会～地域コミュニティのしくみづくりなど～

質 疑

- 1 日 時 平成 29 年 4 月 23 日（日） 15 時 00 分～17 時 11 分
- 2 場 所 男女共同参画推進センター・アマランス研修室
- 3 参加者 55 人
- 4 出席者 市長、企画財政部長、総務部長、企画財政部政策監(地域コミュニティ担当)、総務部政策監(行政サテライト担当)、企画財政部政策監(大型事業担当)、福祉部政策監(地域包括ケアシステム担当)

<（仮称）地域コミュニティ連絡協議会について>

●自治会や連合自治会など各種団体があるが、それぞれが単独で計画してやっており、相互連携が不足している。地域をはっきりと決めたいと、各団体の代表が集まり「どういうまちにしたいか」「どういう人を代表にすればよいか」などを話し合うことが大事だと思う。

・ありがたいご意見。小学校区、連合自治会区でまとまっていたきたいと考えている。今後、地域に関わる職員を中心に地域の様々な団体を洗い出して連携できるようにお手伝いしていきたい。

●発想はいい。ただ、職員の取り組む姿勢に注文したい。「予算がない」という言葉や 1 年以上かけても解決できない、などやる気がないと思われる職員もいる。しくみを成功させるためにもその点を教育願う。（仮称）地域コミュニティ連絡協議会は地域のことを聞いてもらう場所としていい発想だ。

・貴重な意見に感謝する。しくみを成功させるためにも、「地域を知る、地域に出ていく」ことをしっかり教育し意識づけたい。地域の方も職員を育ててほしい。

・地域は地域で一つになっていただく。市側も縦割りではなく、地域で見る視点（横割り）を入れて、地域にある課題を一緒になって考えていく必要がある。最初から 100 点は無理、慣れない、うまくいかないといったこともあると思うが、そのうちだんだんうまくいって、基本的なしくみ・方向性がまとまるだろうと思う。時間はかかるかもしれないが理解をお願いしたい。

●（仮称）地域コミュニティ連絡協議会に多くの人・団体が参加することが望ましい。ただ、代表者を誰にすればいいのか思案する。市全体で、（仮称）地域コミュニティ連絡協議会はいつごろまでに出来上がるイメージなのか。

・代表者は地域で決めていただくことになるが、地域の実情をふまえて、たとえば連合自治会が主体となってもいいし、社会福祉協議会地区支部が主体となってもいいと思う。

・協議会は平成 30 年度から一斉にスタートとは考えてない。しっかり話し合いをしてもらって納得してスタートしてもらいたい。ただ、交付金制度が 30 年度から始まる。30 年度・31 年度の 2 年間で開始できるよう応援していきたい。

●すべての地域に（仮称）地域コミュニティ連絡協議会ができとは思われない。できないときはどうするのか、作れなかった地域と市役所の連携はどうなるのか。窓口はどこになるのか。

・自治振興課、各支所、社協など現状の窓口で継続していく。

- ・（仮称）地域コミュニティ連絡協議会ができると便利であり情報の共有が進むと思う。広くあらゆるところで組織できるよう頑張って応援していきたい。

- 自治会加入の少ないところは、上長崎連合でやっているように、「みこし守」「はたあげ」「もちつき」のようなことをPRしてやっていけばコミュニティは強くなっていくのではないかと考えている。
- どこも人材の問題で頭を悩ませている。こうした中で、さらにこのような組織を作れるのか。役が増えるのではないかと。

- ・一人で複数の肩書をもってやっておられる方が多い。（仮称）地域コミュニティ連絡協議会は新しいしくみを作るといっても今までの活動を厳選して隣やちょっと遠くの人とつながってもらうこと、地域のベースになる活動を中心に、5年後10年後の困りごとに対してもきちっと対応していけるようになればいいと考えているし人材発掘もできる可能性がある。複数の肩書については重複しているところを整理して、他にまかせられるならば楽になるのでは。地域の状況を見て、まずは話し合いをやってみたい。屋上屋を作ろうとは思っていない。

- （仮称）地域コミュニティ連絡協議会については理解できる。ただ、各種団体があるので束ねるにはよほどの覚悟が必要だと思う。自治会の加入率低下については条例などで加入を義務づけたらどうか。（仮称）地域コミュニティ連絡協議会には学校や教育委員会も視野に地域づくりに入ってもらいたい。大水害をふまえ行っている伊良林の「夏祭り」は先行事例であるが、円卓会議をすると機能していくだろうと思う。

- ・自治会の加入率減は全国的な問題だ。条例での入会義務化は方法としては理解できるも任意団体に義務付けることは現状では難しい。アパート・マンションなどへは共益費の中に自治会費を含んでもらうようなお願いもしている。自治会の役割を知ってもらい理解を求めることでやっていきたい。
- ・事務局はたいへんだと思うので、交付金には事務局人件費もみれるよう検討したい。

<拠点について>

- ふれあいセンターがないところに拠点を作ってほしい。

- ・拠点については中学校区に一つのふれあいセンターを整備することを基本としている。小学校区には無いところもあるので、ふれあいセンターの共有や公民館以外の市の公的施設、学校などを拠点として活用することが考えられる。中央部には図書館や桜町小の地域交流センターなどもある。これを拠点としてもよい。

<交付金について>

- 地域センターと（仮称）地域コミュニティ連絡協議会のやりとりからはずれたラインの方はどう扱うのか。たとえば、まちづくり計画書では夜市をするとしながらも、地域に住む私が朝市をしたいので役所の担当課に行って相談すると、まちづくり計画に載っていないので差し戻され、もう一度地域で話し合ってください、といわれるのか、それともそれに関係なく役所の担当課と一緒にやれるのか、ここのところどうなのか。

- ・基本的に地域でのまちづくり計画書の内容に関することは本庁の地域センターで受けるが、もし、まちなかで商業ベースでの祭りをしたい、観光客誘致のイベントをしたい、というのは地域づくりなのか観光客誘致なのかで少し担当が変わってくると思う。基本的には中央の地域も「地域」であるの

でまちづくり計画書の事業計画にのっとってやっていくことがベースである。

●ということは、市の支援を受けようとするとき、（仮称）地域コミュニティ連絡協議会に入っていれば今後は市の補助とか人的支援を受けれないと理解していいのか。

・今まで地域に出している補助金というのは変わらない。今までどおり自治会やPTA、たとえばイベントで各団体に出している補助金というのも変わらない。地域づくり、地域の目標に従って地域全体でやるものはまちづくり計画書を作ってもらって、事業に対して交付金を出すこととなる。個別の補助金とはすみわけされる。説明が分かりにくいところがあるが今後もわかりやすく説明できるように準備したい。

6月・7月までには制度設計をしていきたいので、それまでに多くの質問を受けて対応できるようにしていきたい。

<行政サテライト機能再編成について>

●地域センターが近くなるのは良い。ただ、離婚とか生活保護とか地域で知られたくない書類などには、目立たずに手続きができる配慮を考えてほしい。地域センターや総合事務所の近くに住んでいる職員を配置するような人事異動の配慮はないのか。近くに住んでもらって総会とか自治会行事に参加してもらったり、緊急時にも迅速な対応ができるのでは。顔も覚えてもらうことは大事だ。

・離婚届はどこの地域センターでもできる。生活保護については電話をもらえば職員が出向いていくことで対応する。

・地域に住めば地域のことがよく見える。理想だがそれを強いることはできない。ただ、何らかの配慮はするようにしたい。地域の方に顔を覚えてもらうことは大事なことになるので努力したい。

・自治会加入については市職員の加入率は98%で、ほとんどの職員が入っている。地域センターの24時間対応は無理だがコールセンター（8～20時以外は守衛室に転送される）にかけてもらえば、担当部署に伝わり緊急時もすぐ対応できるようになっている。

・高島など交通が憂慮されるところは職員宿舎を指定して住むこともできるようにしている。

●総合事務所に勤務する職員はたいへんだと思う。人材が必要ではないか。

・専門職である土木職、建設職などそれぞれの知識をもってやっていただくのは当然だが、地域の視点で見れるよう意識をもたせるよう、始まるまでに人材育成に努めていきたい。

<その他>

●高島の観光客誘致というところで、観光振興策は考えているのか。

・北溪井杭について、どう見える化を進めるか計画を立てている。軍艦島との連携も一つのテーマではあるが、訪れる観光客は時間がひっ迫した中で観光している人が多く、軍艦島とは連携しにくいところがある。

・伊王島と高島が連携し、たとえばシュノーケリングとか海のレジャーなどを提供するとか、コンテナを使ったホテルを作るとかも検討している。

●A3 パンプに、いろんな制度を今に合ったものに見直していただいて、と書いてあるが、よくあるこ

とに、要望しても前例がないということで突き返されることがある。納得がいかない。こういうことじゃ先が見えない。埼玉では前例なくてもどんどん見直しが進んでいる。担当職員の問題ではなく変化を求められているのは上のほうだと思うがいかがか。

- ・前例がない、という回答は答えにならない。申し訳ない。一緒になって考える姿勢を見せる、問題解決を地域のリーダーの皆さんと一緒に考えていきたい。